

施設名	供用開始	処理能力	炉数	炉型式	発電施設	kw (最大) 世帯 (約)	対象ごみ	施設の特徴
K市南部クリーンセンター	令和元年10月	500t/日	250t/24h×2炉	ストーカ式焼却炉	蒸気タービン	14,000kw 22,000世帯	燃やすごみ	バイオガス化施設（処理能力60t/日、バイオガス燃料発電1,000kw2,000世帯）を併設した最新の処理方式
K・Kクリーンセンター	平成29年4月	369t/日	123t/日×3炉	流動床式ガス化溶融炉	—	—	・可燃ごみ ・可燃性 粗大ごみ ・し尿汚泥 他	焼却・リサイクル・最終処分場を同一敷地内に一体整備 リサイクル棟89t/日 最終処分場 約3ha
K市立クリーンセンター	平成30年3月	127t/日	63.5t/24h×2基	ストーカ式焼却炉	余熱ボイラ	3,100kw	・可燃ごみ ・粗大ごみ 可燃系 ・破碎残渣	焼却施設とリサイクル施設を一体整備 リサイクル13.8/5h プラスチック圧縮9t/5h 余剰電力を売電
I市クリーンセンター	平成30年3月	174t/日	87t/24h×2基	ストーカ式焼却炉	余熱ボイラ	3,800kw	・可燃ごみ ・粗大ごみ 可燃系 ・破碎残渣	平常時は市民の憩いの場、災害時は防災拠点として地域貢献 リサイクル41t/5h 余剰電力を売電
クリーンパークO	平成30年4月	115t/日	57.5t/24h×2基	ストーカ式焼却炉	余熱ボイラ	2,110kw	・可燃ごみ ・粗大ごみ 可燃系 ・破碎残渣	世界初の膜素材を使用した次世代煙突 余剰電力を売電
Mクリーンセンター	平成29年4月	120t/日	60t/24h×2基	ストーカ式焼却炉	余熱ボイラ	2,650kw	・可燃ごみ ・粗大ごみ 可燃系 ・破碎残渣	ガスタービン発電1,500kw 電気、蒸気を市役所、体育館、中学校等で利用 市街地に位置する次世代型市民施設
佐久平クリーンセンター	令和2年12月	110t/日	55t/日×2炉	ストーカ式焼却炉	蒸気タービン	1,980kw 5,900世帯	・可燃ごみ ・粗大ごみ 可燃系 ・破碎残渣	温浴施設の要望があり掘削費用や収集車運搬道路を整備 焼却灰は県外4ヶ所のリサイクル施設で再資源化 余剰力量を売電